

小諸市学校再編計画（案）概要

1 背景・目的

社会はグローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により急速に変化している。このような時代にあって、学校教育には子どもたちに礎となる資質・能力を育てていくことが求められている。

小諸市内の小学校の多くは、建物が建築後 40 年以上を経過し、施設の老朽化が進行している。また、全国的に進む少子高齢化は小諸市も同様であり、児童生徒数の将来推計をみると、単学級の小学校が増えることが予想される。

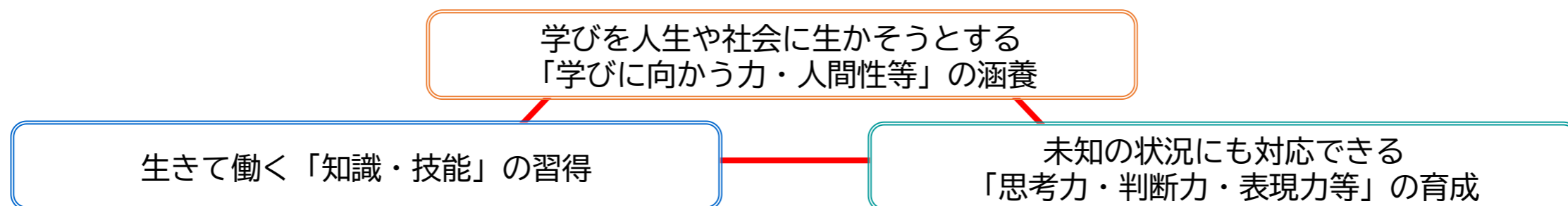
小諸市教育委員会は、これからを生きる子どもたちの資質・能力を育てるために「どのような教育、教育環境が必要か」また「そのための学校施設はどうあるべきか」について、検討を重ね、本計画案を作成した。

2 これまでの取組経緯

H28年12月	～	H30年1月	小諸市長期学校改築計画検討会→提言書
H30年5月	～	H30年9月	長期学校改築計画に関する懇談会・懇話会
H30年11月			小諸市学校改築・再編基本方針
H31年3月	～	R3年4月	小諸市学校教育審議会→答申
R3年5月	～	R4年7月	小諸市学校再編計画検討会
R4年2月	～	R4年5月	パブリックコメント、市民説明会
R4年6月			小諸市学校再編基本構想
R4年9月	～	R5年3月	小諸市学校再編計画検討懇話会
R5年5月			現地見学会・説明会
			小諸市学校再編計画（案）

3 教育の方向性

学習指導要領に記載された育成を目指す資質・能力の三本柱



小諸市が目指す教育の方向性

子どもに育てたい資質・能力

- ・「自分の考えを言葉に表せる力」を育成し、「取り組んでみようとする意欲」「自分もやればできるという自信」を育てる。
- ・仲間と協調し、共に取り組む中で「人間関係形成力」「コミュニケーション力」を育てる。
- ・大人や違う年代の人との出会い、学びを通して、広く社会に目を向けて「夢」「希望」「志」を育てる。

実現に向けて

- ・子どもの資質・能力を育む望ましい学校の姿を実現するために学校再編を実施する。
- ・子どもに育てたい資質・能力を育成するために「小中一貫教育」を進めていく。

※実現するために（次ページ）4 小諸市学校再編計画（案）を決定。

4 小諸市学校再編計画（案）

1 教育について

- ・令和10年度の開校を待つことなく、子どもたちの資質・能力を育てるために小諸市全体で小中一貫教育を推進し取り組む。その中で教育課題となっている「不登校」「学力」の改善に向けても対応していく。
- ・学園制、義務教育学校の導入に向け検討を進める。
- ・子どもの育ちを考慮し、6-3制だけでなく4-3-2制、5-4制の導入等についても検討する。
- ・学校の地域拠点機能について検討する。

※学園制：既存の小学校及び中学校の基本的な枠組みは残したまま、9年間の教育目標を設定し9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校。関係校を一体的にマネジメントする組織や学校間の総合調整を担う校長を定める。

※義務教育学校：一人の校長の下で一つの教職員集団が一貫した教育課程を編成・実施する9年制の学校で教育を行う形態。

2 芦原中学校区の再編について

- ・芦原中学校区の統合小学校は、令和10年度の開校を目指し芦原中学校敷地に併設する。
 - ・検討事項については開校までに解決に向けて段階的に取り組んでいく。
- なお、この間、特に多かった意見、検討事項については以下に記載する。

- | | | |
|------------------|---------------|---------------|
| ● 通学区、通学距離 | ● プール、駐車場など施設 | ● 既存小学校の文化の融合 |
| ● 通学方法、スクールバスの運営 | ● 交通渋滞の緩和 | ● PTA活動 |
| ● 見守り隊活動 | ● 給食の運営 | ● 地域活動 |
| ● 放課後の居場所づくり | ● 防犯・セキュリティ | ● 再編に関わる情報の発信 |

3 小諸東中学校区の再編について

- ・小諸東中学校区の再編については、芦原中学校区の再編後に実施する。
- ただし、その間は児童生徒数の推移等については継続的な把握に努め、再編のための準備を進める。
- ・児童生徒の学校生活に支障が出ないように、大規模改修、必要な維持補修工事を継続実施する。